

県議会 とちぎ

2009年11月22日

No. 92

編集・発行 栃木県議会
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3772
FAX 028-623-3755
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/assembly/

第299回定例会（平成21年9月）

総額761億7,722万円の平成21年度 一般会計補正予算(第2号)を可決

第299回県議会定例会は、9月18日から10月14日まで、27日間の会期で開かれました。開会日には福田知事が提出議案の説明等を行い、9月25日、28日及び29日には、上程議案並びに県政全般に関する質疑・質問が行われました。また、10月5日には予算特別委員会総括質疑が行われました。

本定例会では、知事から提出があった27議案(予算1件、条例15件、その他11件)と議員から提出があった5議案(意見書5件)が原案どおり可決され、請願・陳情については、2件が趣旨採択、1件が不採択、4件が継続審査となりました。

また、平成20年度決算にかかる認定7件については、開会日に設置された決算特別委員会に閉会中の継続審査として付議されました。

可決された主な議案

- 平成21年度栃木県一般会計補正予算(第2号)
- 栃木県森林整備加速化・林業再生基金条例の制定について
- 栃木県地域医療再生基金条例の制定について
- 栃木県介護職員処遇改善等臨時特例基金条例の制定について

趣旨採択された陳情

- ◆日米FTA断固阻止に関する陳情
- ◆国の平成21年度補正予算関連＝介護基盤の緊急整備特別対策事業の一つ、既存の特別養護老人ホーム増床への積極支援と増床に当たっての施設整備補助費の補助率アップを栃木県に求める陳情

可決された意見書

- 経済危機対策の着実な実行を求める意見書
- 大胆できめ細かな雇用対策を求める意見書
- 新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書
- 通商交渉における国内農林水産業への十分な配慮を求める意見書
- 道路整備に必要な財源の安定的な確保を求める意見書



開会日に提出議案の説明等を行う福田知事

第299回定例会 代表・一般質問者及び質問項目

<p>七 農業の担い手確保</p> <p>六 観光産業の振興</p> <p>五 雇用対策</p> <p>四 新型インフルエンザ対策</p> <p>三 太陽光発電の導入促進</p> <p>二 出先機関の統廃合</p> <p>一 知事の政治姿勢</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p>	<p>菅谷 文利 (無所属県民)</p>	<p>六 教員免許更新制</p> <p>五 新型インフルエンザ対策</p> <p>四 三障害(身体・療育・精神)の手帳</p> <p>三 踏まえた整備のあり方</p> <p>二 交通シミュレーションの結果を</p> <p>一 総合スポーツゾーン構想の検討</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム」</p> <p>今後の県政運営</p> <p>衆議院選挙の結果</p> <p>知事の政治姿勢</p>	<p>一木 弘司 (民主・無所属)※</p>	<p>八 総合スポーツゾーンの整備</p> <p>七 ハッパダム建設事業</p> <p>六 足利銀行問題</p> <p>五 とちぎ環境立県戦略(仮称)の策定</p> <p>四 新型インフルエンザ対策</p> <p>三 次期総合計画の策定</p> <p>二 事業見直し基準</p> <p>一 衆議院選挙後の対応</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p>	<p>螺良 昭人 (自民党)※</p>	<p>七 県南地域の観光振興</p> <p>六 高等特別支援学校</p> <p>五 障害者が安心して生活できる地域づくり</p> <p>四 県立高等学校のあり方</p> <p>三 県立高等学校の男女共学化</p> <p>二 障がい者がやさしい地域社会のあり方</p> <p>一 新型インフルエンザ対策</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p> <p>「とちぎ」の将来像</p> <p>政策研究機能の充実</p> <p>二 内部事務の改革及び効率化</p> <p>三 中山間地域の振興</p> <p>四 イノベーション</p> <p>五 中小企業の競争力強化</p> <p>六 北関東自動車道の開通を見据えた産業団地の開発</p> <p>七 全国スポーツ・レクリエーション祭</p> <p>八 今後の社会資本の整備</p> <p>地域資源の活用</p> <p>子どもたちを対象とした農業体験活動等</p> <p>アンテナショップ</p> <p>障害者の雇用対策</p> <p>障害者の工賃の向上</p> <p>環境対策</p> <p>「とちぎ版カーボンオフセット」</p> <p>「とちぎの元気な森づくり」県民税</p> <p>三 再生計画</p> <p>二 県南二次医療圏の地域医療</p> <p>一 県出資法人の見直し案の提言</p> <p>提言の取扱い</p> <p>見直しの方向性</p> <p>見直しの取組方法</p> <p>今後の見直し</p> <p>知事の取組姿勢</p> <p>県南地区の医療圏の体制整備の考え方</p> <p>地域医療再生臨時特例交付金</p> <p>県南二次医療圏の地域医療</p> <p>再生計画</p> <p>三 全国知事会の役割</p>	<p>早川 尚秀 (自民党)</p>	<p>七 県南地域の観光振興</p> <p>六 高等特別支援学校</p> <p>五 障害者が安心して生活できる地域づくり</p> <p>四 県立高等学校のあり方</p> <p>三 県立高等学校の男女共学化</p> <p>二 障がい者がやさしい地域社会のあり方</p> <p>一 新型インフルエンザ対策</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p> <p>「とちぎ」の将来像</p> <p>政策研究機能の充実</p> <p>二 内部事務の改革及び効率化</p> <p>三 中山間地域の振興</p> <p>四 イノベーション</p> <p>五 中小企業の競争力強化</p> <p>六 北関東自動車道の開通を見据えた産業団地の開発</p> <p>七 全国スポーツ・レクリエーション祭</p> <p>八 今後の社会資本の整備</p> <p>地域資源の活用</p> <p>子どもたちを対象とした農業体験活動等</p> <p>アンテナショップ</p> <p>障害者の雇用対策</p> <p>障害者の工賃の向上</p> <p>環境対策</p> <p>「とちぎ版カーボンオフセット」</p> <p>「とちぎの元気な森づくり」県民税</p> <p>三 再生計画</p> <p>二 県南二次医療圏の地域医療</p> <p>一 県出資法人の見直し案の提言</p> <p>提言の取扱い</p> <p>見直しの方向性</p> <p>見直しの取組方法</p> <p>今後の見直し</p> <p>知事の取組姿勢</p> <p>県南地区の医療圏の体制整備の考え方</p> <p>地域医療再生臨時特例交付金</p> <p>県南二次医療圏の地域医療</p> <p>再生計画</p> <p>三 全国知事会の役割</p>	<p>琴寄 昌男 (公明・新政)</p>	<p>七 県南地域の観光振興</p> <p>六 高等特別支援学校</p> <p>五 障害者が安心して生活できる地域づくり</p> <p>四 県立高等学校のあり方</p> <p>三 県立高等学校の男女共学化</p> <p>二 障がい者がやさしい地域社会のあり方</p> <p>一 新型インフルエンザ対策</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p> <p>「とちぎ」の将来像</p> <p>政策研究機能の充実</p> <p>二 内部事務の改革及び効率化</p> <p>三 中山間地域の振興</p> <p>四 イノベーション</p> <p>五 中小企業の競争力強化</p> <p>六 北関東自動車道の開通を見据えた産業団地の開発</p> <p>七 全国スポーツ・レクリエーション祭</p> <p>八 今後の社会資本の整備</p> <p>地域資源の活用</p> <p>子どもたちを対象とした農業体験活動等</p> <p>アンテナショップ</p> <p>障害者の雇用対策</p> <p>障害者の工賃の向上</p> <p>環境対策</p> <p>「とちぎ版カーボンオフセット」</p> <p>「とちぎの元気な森づくり」県民税</p> <p>三 再生計画</p> <p>二 県南二次医療圏の地域医療</p> <p>一 県出資法人の見直し案の提言</p> <p>提言の取扱い</p> <p>見直しの方向性</p> <p>見直しの取組方法</p> <p>今後の見直し</p> <p>知事の取組姿勢</p> <p>県南地区の医療圏の体制整備の考え方</p> <p>地域医療再生臨時特例交付金</p> <p>県南二次医療圏の地域医療</p> <p>再生計画</p> <p>三 全国知事会の役割</p>	<p>五十嵐 清 (自民党)</p>	<p>七 県南地域の観光振興</p> <p>六 高等特別支援学校</p> <p>五 障害者が安心して生活できる地域づくり</p> <p>四 県立高等学校のあり方</p> <p>三 県立高等学校の男女共学化</p> <p>二 障がい者がやさしい地域社会のあり方</p> <p>一 新型インフルエンザ対策</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p> <p>「とちぎ」の将来像</p> <p>政策研究機能の充実</p> <p>二 内部事務の改革及び効率化</p> <p>三 中山間地域の振興</p> <p>四 イノベーション</p> <p>五 中小企業の競争力強化</p> <p>六 北関東自動車道の開通を見据えた産業団地の開発</p> <p>七 全国スポーツ・レクリエーション祭</p> <p>八 今後の社会資本の整備</p> <p>地域資源の活用</p> <p>子どもたちを対象とした農業体験活動等</p> <p>アンテナショップ</p> <p>障害者の雇用対策</p> <p>障害者の工賃の向上</p> <p>環境対策</p> <p>「とちぎ版カーボンオフセット」</p> <p>「とちぎの元気な森づくり」県民税</p> <p>三 再生計画</p> <p>二 県南二次医療圏の地域医療</p> <p>一 県出資法人の見直し案の提言</p> <p>提言の取扱い</p> <p>見直しの方向性</p> <p>見直しの取組方法</p> <p>今後の見直し</p> <p>知事の取組姿勢</p> <p>県南地区の医療圏の体制整備の考え方</p> <p>地域医療再生臨時特例交付金</p> <p>県南二次医療圏の地域医療</p> <p>再生計画</p> <p>三 全国知事会の役割</p>	<p>松井 正一 (民主・無所属)</p>	<p>七 県南地域の観光振興</p> <p>六 高等特別支援学校</p> <p>五 障害者が安心して生活できる地域づくり</p> <p>四 県立高等学校のあり方</p> <p>三 県立高等学校の男女共学化</p> <p>二 障がい者がやさしい地域社会のあり方</p> <p>一 新型インフルエンザ対策</p> <p>「とちぎ未来開拓プログラム(試案)」</p> <p>「とちぎ」の将来像</p> <p>政策研究機能の充実</p> <p>二 内部事務の改革及び効率化</p> <p>三 中山間地域の振興</p> <p>四 イノベーション</p> <p>五 中小企業の競争力強化</p> <p>六 北関東自動車道の開通を見据えた産業団地の開発</p> <p>七 全国スポーツ・レクリエーション祭</p> <p>八 今後の社会資本の整備</p> <p>地域資源の活用</p> <p>子どもたちを対象とした農業体験活動等</p> <p>アンテナショップ</p> <p>障害者の雇用対策</p> <p>障害者の工賃の向上</p> <p>環境対策</p> <p>「とちぎ版カーボンオフセット」</p> <p>「とちぎの元気な森づくり」県民税</p> <p>三 再生計画</p> <p>二 県南二次医療圏の地域医療</p> <p>一 県出資法人の見直し案の提言</p> <p>提言の取扱い</p> <p>見直しの方向性</p> <p>見直しの取組方法</p> <p>今後の見直し</p> <p>知事の取組姿勢</p> <p>県南地区の医療圏の体制整備の考え方</p> <p>地域医療再生臨時特例交付金</p> <p>県南二次医療圏の地域医療</p> <p>再生計画</p> <p>三 全国知事会の役割</p>	<p>板橋 一好 (自民党)</p>
--	----------------------	---	------------------------	--	---------------------	---	--------------------	---	----------------------	---	--------------------	---	-----------------------	---	--------------------

県議会広報テレビ番組のお知らせ

「県議会へようこそ(とちぎテレビ)」を通じて、県議会の動きなどを皆さまにお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。

○「委員会からこんにちは」

第5回	経済雇用対策特別委員会・農業活性化対策特別委員会
本放送	11月21日(土) 午前10時5分～10時20分
再放送	11月27日(金) 午後7時30分～7時45分
第6回	予算特別委員会・議会活性化検討会
本放送	1月23日(土) 午前10時5分～10時20分
再放送	1月29日(金) 午後7時30分～7時45分

注()は所属党派
 (自民党)栃木県議会自由民主党議員会
 (民主・無所属)民主党・無所属クラブ
 (無所属県民)無所属県民クラブ
 (公明・新政)公明党・新政クラブ議員会
 ※は代表質問

裏面の「本会議質疑・質問から」に掲載している質問項目は、太字で表示してあります。

第299回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、これに対する知事など執行部の答弁の要旨は次のとおりです。

総合スポーツゾーンの整備

問 総合スポーツゾーンの整備については、民間活力導入可能性調査を行い、こうした調査を踏まえ、民間活力を導入した形で基本計画、実施計画を行っていくことが良いかと思うが、民間活力の導入についての知事の考えを聞きたい。

答 総合スポーツゾーンについては、県民の皆様にも夢と希望を持っていただけたら、事業として取り組んでいきたい。今後は、県のスポーツ施設の配置や現状を踏まえながら、ゾーンの全体構想を策定する中で、施設配置や整備・運営手法、及び交通アクセスなどについて検討を進めていく。全体構想を策定していくに当たり、財政負担の最少化を図るため、国庫補助の導入はもろろのこと、民間活力の活用などについてできるだけ具体的な形で幅広く検討していく。

全国知事会の役割

問 地方分権の推進等、国と地方に関する様々な課題に提言、対処していく上で、全国知事会の使命は大きくないか。

答 地方分権の推進等、国と地方に関する様々な課題に提言、対処していく上で、全国知事会の使命は大きくないか。このため、費用対効果の観点から、システム化の重複投資を避け、効率的な導入が可能となるよう、財務会計システムの更新に合わせ導入することとし、準備を進めていく。

地上デジタル放送 難視地区への対応

問 総務省調査では、地上デジタル放送が受信できない世帯は県内十二市八町に約一万七千世帯あり、全国最多である。

答 地上デジタル放送は国策であり、難視地区対策も国主体で行うべきではあるが、完全移行まで一年余に迫る中、すべての県民が受信できる対策が必要である。県として、今後どのように取り組んでいくのか聞きたい。

答 難視解消の手法には、中継局や共聴施設の整備、ケーブルテレビの活用等があるが、県は市町と連携し、地域の実情に応じた対策が講じられるよう、国や放送事業者に働きかけるとともに、関係機関で構成する「栃木県地上デジタル普及推進会議」を通して調整を進めていく。また、共聴施設は難視解消に有効であるため、国庫補助に併せて県が創設した助成制度を活用し、整備を進めていく。

消費者行政の推進

問 消費者庁が設置された。県や市町村においては、相談窓口の強化が最重要課題になるものか。

答 消費者庁が設置された。県や市町村においては、相談窓口の強化が最重要課題になるものか。そこで、本県の地方消費者行政活性化計画の特徴はどのようなものか。また、県は市町村との役割分担や関係機関との連携などについて、今後どのように消費者行政を推進していくのか聞きたい。

答 この計画では、市町村消費生活センターの新設・拡充に対する支援や、相談員の養成・レベルアップ研修の実施等による相談窓口の強化に加え、被害の未然防止の啓発等に重点を置いていく。今後は、県や市町村の各相談窓口の対応力強化を図るとともに、消費者庁をはじめ、市町村や警察などと緊急整備を促進しており、保育事業の実施主体である市町村との緊密な連携の下で、認可保育所の拡充を基本として、一時預かり事業の助成など認可外保育施設も対象となる国庫補助制度の有効活用も図りながら、多様な保育サービスの安定的提供の促進に努めていく。

三障害(身体・療育・精神)の手帳

問 身体障害、知的障害、精神障害の三手帳の外観を統一することにより、障害を一目で見える形で区別されることにならざることを、精神障害者の手帳取得・利用への心理的負担が軽減され、取得者の増が見込まれる上、健常者が障害を区別しない意識の醸成が図られる効果は大いである。そこで、本県において、三手帳のカバーの色を統一できないか聞きたい。

答 障害者が利用できるサービスは、障害の種類等により異なることを考慮する必要があるが、すべての障害者が心理的負担を感じることなく手帳を取得し、サービスを利用できるような、障害者への理解促進のための普及啓発に努めていくとともに、関係団体の意見や他県の取扱い等を参考にしながら、今後、効果的な手帳制度について研究していく。

官民連携策による産業団地造成

問 県南地域の産業団地は、ほぼ分譲済みとなっているが、なかなか新規の造成計画が策定できない状況も見込まれる。官民連携型の事業方式を採用して、官民協働のルールをつくり、県側から民間へ働きかけていくことは、財政状況が厳しい中、有効な手法であると考えられるが、県の見解を聞きたい。

答 県南地域では、分譲率が約九十七％で、良質な産業用地の計画的な確保に努める必要がある。提案のあった官民連携型の事業方式は、投資リスクや財政負担の軽減、民間のノウハウを活かしたスピード感のある事業実施に有効な手法の一つと考える。民間活力導入のメリットを活かしながら、これに伴う課題がクリアできる事業パターンを作成などについて、関係部局等と連携しながら検討していく。

農業の担い手確保

問 本県の主要農家は平成七年から平成十七年までの十年間で三割減少するなど、地域農業を支える担い手が絶対的に足りなくなっている。本県農業が発展するために、多くの意欲ある人材が農業に参加していくことが必要である。県では農業の担い手確保に向けてどのような取り組みを行っているのか聞きたい。

答 県内外での就農相談会の開催などにより本県での就農を呼びかけるとともに、「とちぎ農業未来塾」では技術習得などを支援している。さらに、今年度は緊急雇用対策の一環として、失業された方の農家研修を支援している。今後は、農業振興事務所の普及指導員が一人ひとりの就農希望者の相談役となり、市町村や農業団体と連携し、農地や資金の確保等、様々なニーズに対応した支援を行っていく。

今後の社会資本の整備

問 最近では、公共事業はすべて悪であるかのような風潮があるが、決してそうではない。土砂災害や河川の氾濫などの自然災害から県民の生命、財産を守り、通勤・通学時の安全確保や産業振興等のために社会資本の整備はまだ必要である。特に中山間部においては、費用対効果が優先され、整備が遅れている。県土の均衡ある発展のためにも、公共投資はまだ必要と考えるが、今後の社会資本の整備をどう考えているのか知事に聞きたい。

答 これまで、厳しい財政状況下にあっても着実に社会資本の整備を図り、県民生活向上や地域経済活性化に努めてきた。今後とも、県民の安全安心や災害の未然防止、産業振興に配慮しながら、事業の投資効果や緊急性、優先順位等を見極めて、真に必要な社会資本の整備に努めていく。

議会のつぎ

◆議員全員協議会の開催
十月二十八日(水)に議員全員協議会が開催され、福田富一知事から「とちぎ未来開拓プログラム(案)」について説明があった後、八名の議員が質疑を行いました。

党派構成の変更

平成二十一年十一月一日現在の党派構成は次のとおりです。
栃木県議会自由民主党議員会 三十二人
民主党・無所属クラブ 六人
無所属県民クラブ 五人
公明党・新政クラブ議員会 三人
みんなのクラブ 二人
日本共産党 一人
県政クラブ 一人

第300回 県議会定例会の開催予定

第300回定例会は、下記の日程で開催する予定です。
11月30日の開会日は、第300回記念行事として講演会を開催します。
・講師/全国都道府県議会議長会事務総長 田村 政志氏 ・講演テーマ/「議会制度改革の行方」(予定)
本会議や委員会はどなたでも傍聴することができます。また、本会議(質疑・質問)については、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで生中継されます。

月 日	内 容	開始時刻	月 日	内 容	開始時刻
11月30日(月)	本会議(開会・議案上程)	午前9時30分	12月 8日(火)	常任委員会	(予備日)
12月 1日(火)	議案調査		9日(水)	特別委員会	午後1時30分
2日(水)	本会議(質疑・質問)	午前10時	10日(木)	議案調査	
3日(木)	〃	〃	11日(金)	議会運営委員会	午前11時
4日(金)	〃	〃	14日(月)	本会議(採決・閉会)	午前10時
7日(月)	常任委員会	午後1時30分			

詳細は、県議会事務局議事課 (028-623-3761) までお問い合わせください。